

阿波女あきんど塾 キャスト

有限会社 アン・モデルエージェント 代表取締役 青江 文

株式会社 ラパンセジャパン 代表取締役社長 今城 美紀

株式会社 クラッシー 代表取締役 植田 貴世子

株式会社 ひまわり 常務取締役 大岩 明代

株式会社 北野商事 代表取締役会長 北野 多津子

株式会社 あわわ 会長 坂田 千代子
株式会社 アニバ出版 代表取締役

有限会社 ケイ・トップス 代表取締役 高岡 慶子

モンドジャコモ 有限会社 代表取締役 高木 博代

株式会社 とさわ 代表取締役社長 高畑 富士子

株式会社 ココア堂 代表取締役 立川 真季

立木写真館 1883 代表 立木 さとみ

オートクチュール板東 代表 板東 美千代

www.awaonna-akindo.com

阿波女あきんど塾



阿波女 あきんど塾

awa onna akindo jyuku vol.29



● 編集・発行
阿波女あきんど塾・徳島市

● 発行日
2022年3月31日

● お問い合わせ先
徳島市経済部経済政策課
徳島市幸町2丁目5
TEL.088-621-5225

阿波女あきんど塾 キャストに訊く
「U・I・J ターンを含めた、街の活性化への思い」

シン・徳島人 Interview

- 今井 成美さん 今井 貴大さん
 - 市川 智史さん
 - 井本 将太さん
 - 堤 理恵さん
 - 橋本 育実さん
- 「子育て環境の優位性を重視し、Uターン」
「生まれ育った徳島を、もっともっと面白くしたい」

阿波女あきんど塾 キャストに訊く

「U・I・Jターンを含めた、街の活性化への思い」



有限会社 アン・モデルエージェント 代表取締役 **青江 文**

徳島が活性化するためには「県民の満足度」も重要です。そのために、「徳島のいいところ」を自治体や県民である私たちをもっと有効にPRできれば、と思います。生まれてずっと徳島に住んでいる県民は何かしら「いいところ」を持っているはずですし、UJターンして今徳島に居る人は県民よりその魅力を発信することができるのかなと思います。私自身も関西圏とのUターンで起業しました。県外も見て徳島の良さを見つけた一人としてこれからも微力ではありますが、PRをしたいと思います。



株式会社 ランゼンジャパン 代表取締役社長 **今城 美紀**

20年前は徳島を拠点として東京に仕事に向かうというスタイルから10年前に東京を拠点として徳島の仕事を減らすスタイル、割合的には東京7割徳島3割で動いております。東京中心の生活が続きますと、徳島の良い所が沢山見えてきます。海、川、山・豊かな自然のなかで戯れることの贅沢さ、育て野菜や果物は新鮮で、同じ品質のものを東京では購入できない。レストランで「徳島産」と表示があるメニューは驚く程高額！ですので、徳島ステイの期間は海を眺めたり、徳島産の食材を堪能したりすることが楽しみになっています。徳島の良い所、まだまだあります。「会いたい人」にすぐに会える！コレは田舎の良さ、と言えるのでしょうか。コミュニティに繋がれる事は大きな魅力だと思います。UJターンされる方々にコミュニケーションの場を提供して「自己発信の場にする事」が大切だと思います。私も自分の目標の達成点においての「未来予想図」を描いておりましたが、前代未聞のハンデミックを経験しますとその「未来予想図」も変更しつつあります。



株式会社 クラッシー 代表取締役 **植田 貴世子**

人口増は長年の地方のテーマ。人がその地に定着するとは、その人の人生をこの徳島で紡ぐことです。人生は一人では紡げなくて、嬉しい事を喜び合う、嬉しくない事は助け合うという風に、徳島暮らしは全部ひっくるめて面白い！と思える日々の躍動感が必要ではないかと。この躍動感を生むには、つまりは街の活性化には人と人との繋がりが必要で、その繋がりが生まれやすい仕組み・仕掛けを用意する努力がUJターンを増やす・活かすことになるのでは？と。



株式会社 ひまわり 常務取締役 **大岩 明代**

20年前東京から徳島に帰ってきたときは、海、山、買い物やアクティビティに便利なコンパクトな街。食べる事が大好きな私にとって、美味しく新鮮でリーズナブルな食材や地産地消の美味しいお食事を提供してくれる街の飲食店に、心が躍り故郷徳島にとても新鮮な魅力を感じた。これからUJターンをされる方々にそんな徳島の魅力をもっとお伝えし、街の活性化に繋げていきたいと思う。



株式会社 北野商事 代表取締役会長 **北野 多津子**

徳島県の田舎で生まれ、進学・就職を機に上京、結婚後又田舎に帰り、徳島市に移住する。徳島は、ある程度利便性があり、自然も多い土地で仕事したい人には魅力的ではないでしょうか。通勤電車を毎日のように利用する事は、健康上よくない。心理的な負荷が高まることで、都会の生活を困難に感じてしまう人も多くいると思います。のんびり好きな仕事を一生涯出来る田舎は、すばらしいと思います。ストレスのない生活こそ町の活性化につながると思います。



株式会社 あわわ 会長/株式会社 アニバ出版 代表取締役 **坂田 千代子**

よく働き明るくしっかり者の「阿波女」。昨年には、女性管理職比率が日本で初めて2割を超えるというデータが話題となりました。そんな阿波女が、子育てをしながらいきいきと働けるのは、阿波男が寛容で応援してくれる土壌も大きい要素だと思います。ポストコロナ時代は、地方の時代となります。徳島へのUJターンや企業移転も人気に、サーフィン、SUP、釣り、ゴルフなどアウトドア三昧や美食を楽しみながら、多様な働き方ができる徳島、サスティナブルな徳島の暮らしを、徳島市民一人ひとりが実感し誇りに思い発信しましょう。

これからの徳島に、U・I・Jターンのエネルギーは必須！？ 期待のメッセージをあきんど塾キャストより



有限会社 ケイトップス 代表取締役 **高岡 慶子**

徳島は、程よい「田舎」で過度なストレスを感じることなく暮らしを営むことができる土地だと感じています。ただ、「田舎」であるが故に「ホンモノ」の文化や芸術に触れる機会が極端に少なく、狭い視野で思考してしまいがちになるという欠点もあります。身近にあるものを享受する居心地の良さに慢心せず、UJターンの方たちの新しい価値観に刺激を受けながら豊かな発想力を培い、街を活性化する原動力にしていきたいですね。



モンドジャコモ 有限会社 代表取締役 **高木 博代**

私が育った街、東新町は週末となれば歩行が困難になるほどの人、人、人であふれ返っていました。あれから約半世紀。どうすれば、人が集い、楽しんで過ごすことができるのか、地域に誇りを持てるのか、近年はそのことばかり考えてきました。空き店舗、空洞化、生活スタイルの変容、多様化…。頭に浮かぶのはネガティブな言葉ばかり。分かっているのは、エリアが面に、立体になっていないこと。じゃあ、何を指したい？そう、わくわく感が生まれる街。そこに行けば、街中が理屈抜きで楽しい。もちろん、老若男女すべての人が。モノは？新町川、ボードウォーク、阿波踊り、眉山、瀬戸内寂職さん…そろっている。コは？単発ながら繰り広げられている。ヒトは？地元のクリエイターと協働し、刺激を注ぐ熱がほしい。そう、トータル的にコーディネートでき、それでいてビジネスにもたけている、そんなチームはできないものか。活性化に必要なのは熱量。ともに挑んでみませんか。



株式会社 ときわ 代表取締役社長 **高畑 富士子**

徳島で暮らす、それは、たまたまだったり、自ら選んだ事だったり色々な事情があるその中で自分の生きる場所を少しでも良くしていこう考えるのはとても大切なことだと思う。今いる場所を少しでも良くしていく、もっと愛せるようにコミュニケーションの中で助け合えることが出来れば、そんな想いを繋げていきたい。



株式会社 ココア堂 代表取締役 **立川 真季**

「生まれ育った故郷で働きたい」、「子育てはどの様な環境で」、「徳島でしかできない工芸」など、UJターンされた皆様の動機や目的は実にさまざま。けれども共通して、これからの徳島に、この先の自分にワクワクしている！ま、眩しい♥徳島を選んでくれてありがとう！私たちはこれから、彼らの勇気と意欲で、どう応えていけるだろう。「どんな徳島になれたいのか？」とても単純に考えてみる。ほら、県外の友だちに自慢したい街！希望がもてて、チャンスがつかめそうな街…とおぼろげに思う。誇れる居場所は、もはや自分たちでつくるか、見つけるかない!?!…私も頑張りますが、「シン・徳島人」の新たな発想と行動力に期待！近未来の徳島をデザインするのは、君だ！僕だ！我々だ！



立木写真館1883 代表 **立木 さとみ**

「街の活性化にはよそ者・若者・馬鹿者が必要」と言われる。これを「客観的な目線・みずみずしい感性・信じたことは批判を受けてもやる根性」と言い換えれば、徳島で生まれ育って還暦を過ぎた私たちにも必要なことだ。その根底に何より必要なのは、地域への愛や誇り。これがあれば、出身も年齢も経歴も関係ない。もちろん徳島を選んでくれたUJターンの方々には感謝しながら、一緒に、しなやかに徳島を楽しんでいけたらと思う。



オートクチュール板東 代表 **板東 美千代**

一度都会生活を経験すると徳島の素晴らしさを発見できます。自然豊かなところに生まれ育ったこと、食べ物の本物の美味しさ。人情あふれる人々。町をよこよこ愛する気持ち。私は迷わずUJターン。都会で身に着けた高いスキルは地方でも生かすことができます。「UJターン」はこれからの時代に最も興味ある新しい生き方。この魅力溢れる徳島から様々な生き方を発信して行くじやありませんか？そして街中に活気を取り戻しましょう！

Uターン シン・徳島人 Interview

徳島にU・I・Jターンする人口は年々増加傾向に。何うと、そのきっかけや経歴、職種もさまざま。新たに or 改めて・・・
徳島で暮らすことを選んだ「シン・徳島人」の皆さまに、
いろいろなチャレンジのスタイルや 徳島への想いをお聞かせいただきました。

「子育て環境の優位性を重視し、Uターン」

今井さんはご主人とともに徳島出身。
大阪で10年間居住していましたが、
第一子の出産を機に帰省。
ふるさとでの起業を選びました。

Uターン < 2021年 >

今井 成美さん
今井 貴大さん

自身の経験を生かし、子育ての不安を話し合えるショップ&サロンに

私と主人は共に大阪で働いていましたが、「子育ては自然豊かな徳島で」と夫婦で決めていました。折しもコロナ禍となり、人に会えない、子ども連れで出かけにくい、窮屈で息苦しい日常となり、徳島へのUターン熱が高まりました。そんな時、現在のシェアスペースの募集を見て即申し込み、昨年4月から徳島での子育て、起業の両方が一気に変わったのです。このお店は、単なるモノの販売だけではなく、私自身が経験した子育て中の悩みや孤独さに寄り添えるショップづくりをめざしています。



mikke

徳島市東船場町 2-42
長美堂ビル2F La Ruche
TEL.080-4037-3652
✉mikke.0717@gmail.com



チャレンジしやすい、 アピールしやすい場所

私の夢は、毎日育児に奮闘しているお母さまの気持ちに寄り添うこと。ここに来れば「心が豊かになる」、「気持ちを発散できる」そんなお店にしたいです。そして先々、グラフィックデザイナーである主人と協力して、オリジナル商品など作成したい。ハンドメイド作家さんやベビーマッサージなど、子どもに関わる活動がされている方とコラボして徳島を盛り上げていきたいと思っています。徳島には、私のように小規模でも活躍できる可能性があって、若者も「やりたい!」という声を上げやすい大らかな土地だと思います。

「生まれ育った徳島を、もっともっと面白くしたい」

高校卒業後、進学のため上京。
とにかくファッションが大好きで、
アパレルで独立開業することが目標だった
市川さんは、ふるさとでその夢をかなえ、
さらに高みをめざしチャレンジを続けています。

Uターン < 2005年 >

市川 智史さん

東京で学び、働き・・・ それでも徳島で夢をかなえたい

母が籠屋町で商いをしていて、思えば小さいことから「商売」のイロハを見て学んでいたのかも知れません。子どもの頃から、将来は絶対ファッションに関わる仕事に就く!と決めていたので、迷わず上京し文化服装学院へ。卒業後は憧れの大手アパレルへ入社するも、当時機運の高まりつつあったドメスティックブランド(裏原宿)の小さなメーカーに転職。大手ではできない貴重な経験を積ませていただき、26歳の時に帰省。一年後に、籠屋町で「ATF」という輸入古着、雑貨販売のセレクトショップをオープンしました。



meet me Here

徳島市万代町
5-71-4
TEL.088-679-8266
✉atf2018tk@gmail.com



万代ふ頭に夢をのせて

徳島での起業は、なじみ深い中心商店街を拠点にスタートしました。次の2店舗目を選んだのは、縁もゆかりもない万代ふ頭。ここ数年で劇的に進化したウォーターフロントです。お店やシェアオフィスも増えて、もっともっと面白い街になると感じました。倉庫街とアメリカンカジュアルの親和性も高いし。売場面積60坪は少し欲張り過ぎかな、とも思いましたが、商品の世界観が演出出来たり、ここ発信のイベントが催せたり・・・決して広すぎない。これからは、徳島の魅力的な食を扱ったり、コラボイベントもどんどん開いて、この界隈を徳島で一番ワクワクする場所にしたいです。

リモートでもできること、 無理なこと

主人は大阪のデザイン会社に在籍していますが現在は徳島に在住し、リモートワークをしています。New Normalという社会の変化は、今の働き方を可能にしてくれ、地方で暮らす大きなメリットになったと思います。この1年間で、会わずにできることできないことがよく見えてきました。リアルに話したり、体験を共有したり・・・の大事さも痛感しています。

シン・徳島人 Interview

「神戸と徳島、陸路で つながる利便性を生かす！」

J+Uターン
< 2017年 >

井本 将太さん
SEIDO SLICE PIZZA
徳島市東船場町1丁目17 TEL.088-661-7687



那賀町で生まれ育ち、大学進学で福岡へ。卒業後は神戸で就職し、のちにタコス屋を独立開業しました。徳島と関西は陸路でつながっていて、アクセスもとても良い。神戸を出て、2時間弱で徳島に着くんですから。その地の利を生かして、両国本町に「S.B.DINER TOKUSHIMA」を開店。2021年には東船場に「SEIDO SLICE PIZZA」をオープンしました。テイクアウトのできる飲食店をベースに、気軽に食べていただけるメニューを色々工夫しています。今は神戸と徳島、2拠点で暮らしています。中心商店街は寂しい印象ですが、きちんと作りこめば個性的な賑わいも出せるのではないかと感じています。自分にとっては、街と自然の距離感が絶妙に魅力的です！

シン・徳島人 Interview

「居場所にこだわらず、 やりたいことができる時代に」

Uターン
< 2016年 >

橋本 育実さん
TEL.090-6719-6407
✉193.ikumi.32@gmail.com



高校時代に名古屋から徳島へ移住し、大学進学で兵庫へ。以降、国内外で研鑽を積み、実家のある徳島にUターンしたのは2016年頃。県内で就職し、映像やイベント企画・運営に関わり、2021年に独立しました。いろいろな土地を経験してきたと思うのは、徳島は住み心地がすごくいいところ。自然がすぐそばにあって、食材や水がとても美味しい。県民は当たり前になっていることが、実は稀有な「強み」。まだまだ伸びしろがいっぱいです。仕事も大事、暮らしも大事にしたい…そんなこれからの世代に選ばれる場所だと思います。私も今後、同じ世代のクリエイターとのつながりをもっと作り、面白いコラボで徳島を盛り上げていきたいです。



シン・徳島人 Interview

「徳島の豊かな一次産業に、 光と付加価値を」

↓ターン
< 2010年 >

堤 理恵さん
CTL 株式会社シトリアン 徳島大学発ベンチャー
徳島市幸町3丁目14-2F TEL.050-5375-4177
✉tsutsumi@citlian.jp HP www.citlian.jp

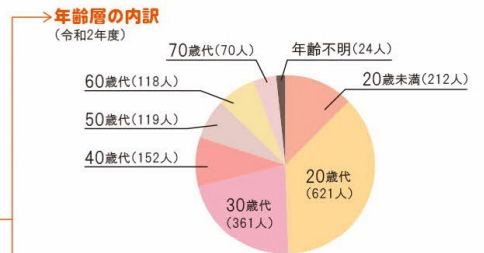


出身は兵庫。「徳島大学で仕事をしたい！」そんなシンプルで一途な思いが移住のきっかけでした。夢がかない、徳島大学発ベンチャー企業を立ち上げることができたのも、この地の豊かな一次産業とたくさんの貴重な出会いがあったからこそ。弊社は、地域特産物の機能性の発信や商品開発提案を通して、地域資源の付加価値を見出し、人と人、人と地域をつなぎ、持続可能で健康な社会づくりに貢献したいと考えています。これからも、徳島ならではの食や文化を含む魅力を、科学的エビデンスを持った観点から自信を持って発信していきたいと思っています。

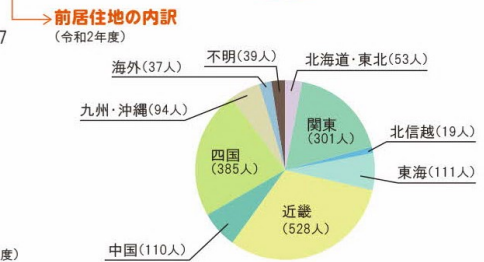
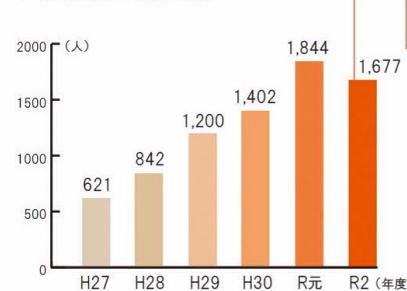
グラフで見る、徳島移住者の実績

【移住者の定義】各市町村の転入窓口で「転入状況アンケート」を実施し、会社都合による転勤、進学、施設入所以外の理由での転入者を移住者として集計(平成27年度より)

徳島県内の各市町村が実施した「転入状況アンケート」をもとに、U・Jターン移住者を調査しました。県外等からの移住者数は年々増加傾向にあり、令和2年度は全体で1,677人。年齢層別で最も多かったのは、20歳代の621人、次が30歳代の361人でした。前居住地は、1位:大阪府(253人)、2位:香川県(198人)、3位:兵庫県(153人)の順となります。



徳島への移住者数の推移



出典:『徳島県ホームページ』令和2年度における徳島県への「移住者数」